

なぜ必要？がん検診

北部保健所 健康推進班

クイズです

一生のうちに何らかのがんになる人

日本人の 約①100 ②50 ③10 ④2 人に1人

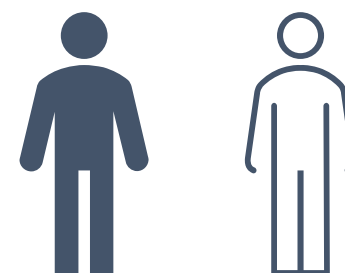
がんで亡くなる人

日本人の 約①1000 ②400 ③40 ④4 人に1人

がんは身近な病気です

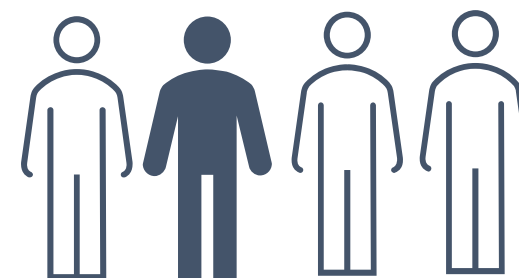
一生のうちに何らかのがんになる人

日本人の 約 **2 人に 1 人**



がんで亡くなる人

日本人の 約 **4 人に 1 人**



がん検診はなぜ必要？

がん検診の利益

胃がん

大腸がん

乳がん

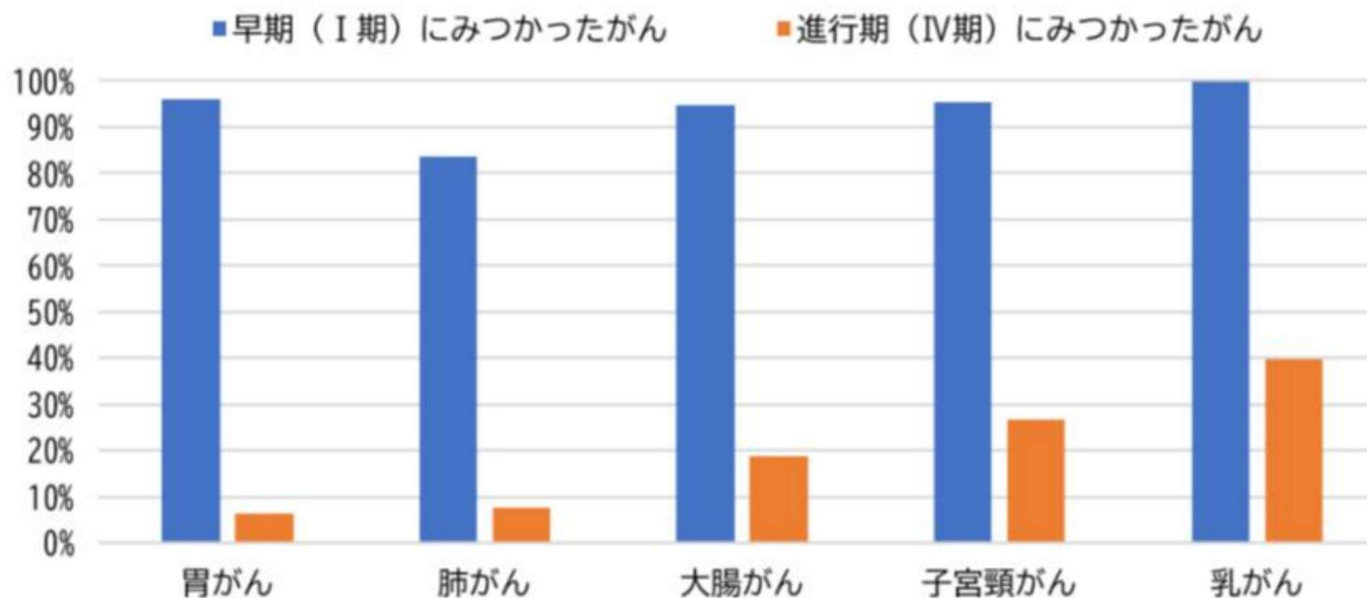
子宮頸がん

は **90%** 以上

肺がん

は **80%** 以上が治ります。

検診がん種別の病期別5年相対生存率（※2014年診断症例）



引用：厚生労働省ホームページ「がん検診」

がん検診について

種類	検査項目	対象年齢	受診間隔
 胃がん	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査 のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
 子宮頸がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳代	2年に1回
	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	30歳以上 ※市区町村で実施する検査項目をご確認ください。	2年に1回
	問診、視診及びHPV検査単独法		5年に1回 ※罹患リスクが高い者については1年後に受診
 肺がん	質問（問診）、胸部エックス線検査	40歳以上	年1回
 乳がん	質問（問診）及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ） ※視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
 大腸がん	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

引用：厚生労働省ホームページ「がん検診」

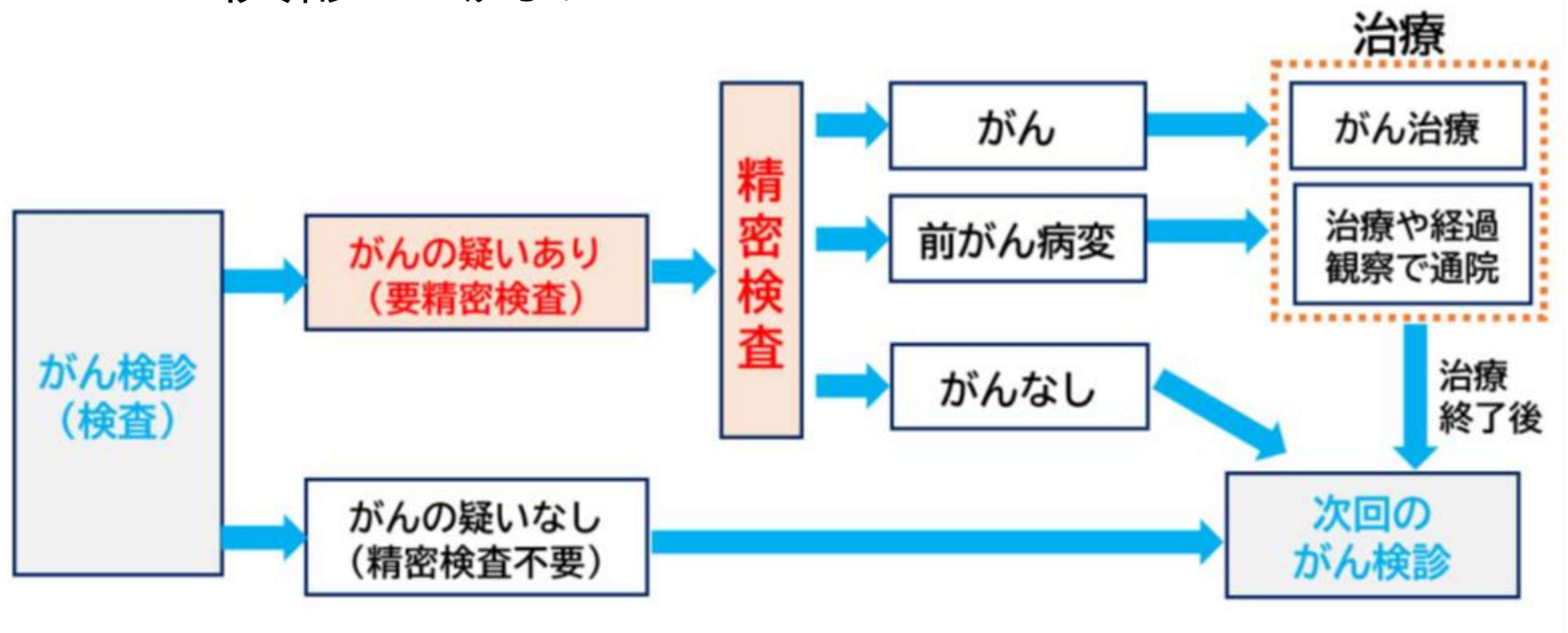
がん検診の受け方

住民健診は法律や国が定めた指針に基づいて市町村が実施



引用：厚生労働省ホームページ「がん検診」

がん検診の流れ



精密検査まで受けて、はじめて「がんがあるか、ないか」を確認できます。

引用：厚生労働省ホームページ「がん検診」

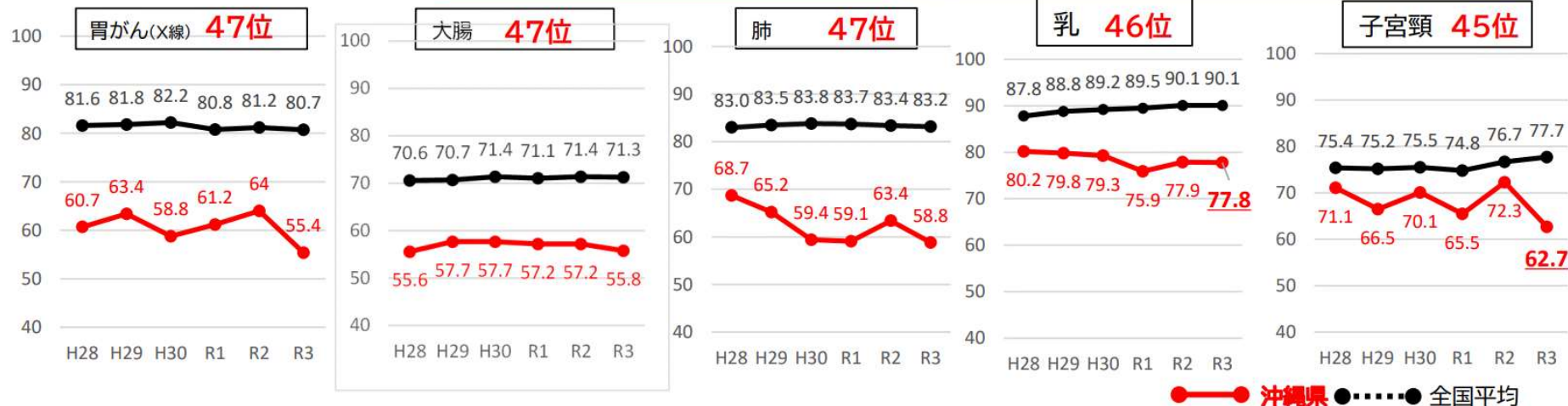
沖縄県民の精密検査受診率は 全国ワーストレベル

精密検査受診率

厚労省報告書R5.6「がん検診事業のあり方について」において、5がん全て基準値を90%以上に設定。

地域保健・健康増進報告(市町村住民検診対象)による沖縄県の精密検査受診率は、5がんとも国基準値90%に達していない。全国平均を大きく下回り全国最下位レベル。

精密検査受診率は全国より低い。沖縄の課題！



引用：沖縄県ホームページ「沖縄県におけるがん検診の各種データ」

大腸がんを例に見てみると、、、

沖縄県は、、、

大腸がんになる方が多い（**全国ワースト 4 位**）が、
※年齢調整罹患率_全国がん登録（厚生労働省）

検診を受けている人が少なく（**全国ワースト 4 位**）、
※がん検診受診率_国民生活基礎調査（厚生労働省）

検診で引っかかっても**放置**している方が多く（**全国ワースト 1 位**）
※精密検査受診率_
地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）

その結果、大腸がんで**亡くなる**方が多い（**全国ワースト 3 位**）
※年齢調整死亡率_人口動態統計（厚生労働省）

本日のまとめ

1. **がんは早期発見・早期治療が重要です。**
定期的にがん検診を受けましょう。
2. **「要精密検査」になったら、必ず精密検査を受けましょう**
症状がなくても放置せず、早めに医療機関へ。

**あなたに必要な次の一步を。
検診受診、結果の確認、精密検査の受診まで。**